

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 26 年 9 月 18 日 (2014.9.18)

【公表番号】特表 2014-517997 (P2014-517997A)
 【公表日】平成 26 年 7 月 24 日 (2014.7.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-039
 【出願番号】特願 2014-511857 (P2014-511857)
 【国際特許分類】

H 0 1 M 8/24 (2006.01)

H 0 1 M 8/02 (2006.01)

H 0 1 M 8/12 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 8/24 E

H 0 1 M 8/02 Y

H 0 1 M 8/12

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 7 月 31 日 (2014.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

少なくとも 2 個の管状燃料電池素子と、この管状燃料電池素子は互い平行に配置されており、各管状燃料電池素子は、外側表面が管状外側電極で覆われている電解質で外面が覆われた管状内側電極から成る少なくとも 2 個の微小管状素子を有しており、

前記少なくとも 2 個の微小管状素子間に配置され、かつ微小管状素子の一方の一端を他方の微小管状素子の一端へ接続するために用いられる接続素子から構成される微小管状固体酸化物燃料電池装置であって、

前記管状燃料素子の前記少なくとも 2 個の微小管状素子は、前記管状内側電極中に配置される内側円錐形部材を備える第二端部と前記管状外側電極中に配置される外側円錐形部材を備える第一端部を備えて構成され前記微小管状素子の電氣的直列接続を形成し、

前記接続素子は、第一側面及び対向第二側面を有する金属インターコネクタプレートから成り、前記インターコネクタプレートは、少なくとも 2 個のホールを備え、その 1 個は前記少なくとも 2 個の管状燃料電池素子の各々と連携しており、このインターコネクタプレートは、

前記第一側面上にあり、前記インターコネクタプレートから離れる方向に向かって狭くなる断面を有する円錐形状を呈し、かつ前記微小管状素子の一方の前記第一端部を接触させるように寸法化及び配置される第一金属コネクタ、及び

前記第二側面上にあり、前記インターコネクタプレートから離れる方向に向かって広がる断面を有する円錐形状を呈し、かつ前記微小管状素子の他方の前記第二端部を接触させるように寸法化及び配置される第二金属コネクタが設けられることを特徴とする微小管状固体酸化物燃料電池装置。